

**授業形態が変化した2020年度以降の
学生の授業に対する評価、学修行動について**

2021年11月5日

高等教育開発センター

教育方法研究支援室

助教 横山真衣

2019年度～2021年度の変化

2019年度 従来型

- ・ 対面授業
- ・ 19年入学生：大学初年次に従来型の対面授業を受講
大学生生活の基盤はできている

2020年度 形態変化 初年度

- ・ 対面授業とオンライン授業が混在
- ・ 20年入学生：入学後、急に授業形態が変化
大学生生活の基盤ができていない

2021年度 形態変化 2年目

- ・ 対面授業とオンライン授業が混在
形態には、科目の特性が考慮される
- ・ 21年入学生：形態が変化して2年目の授業を受講
(想定内)

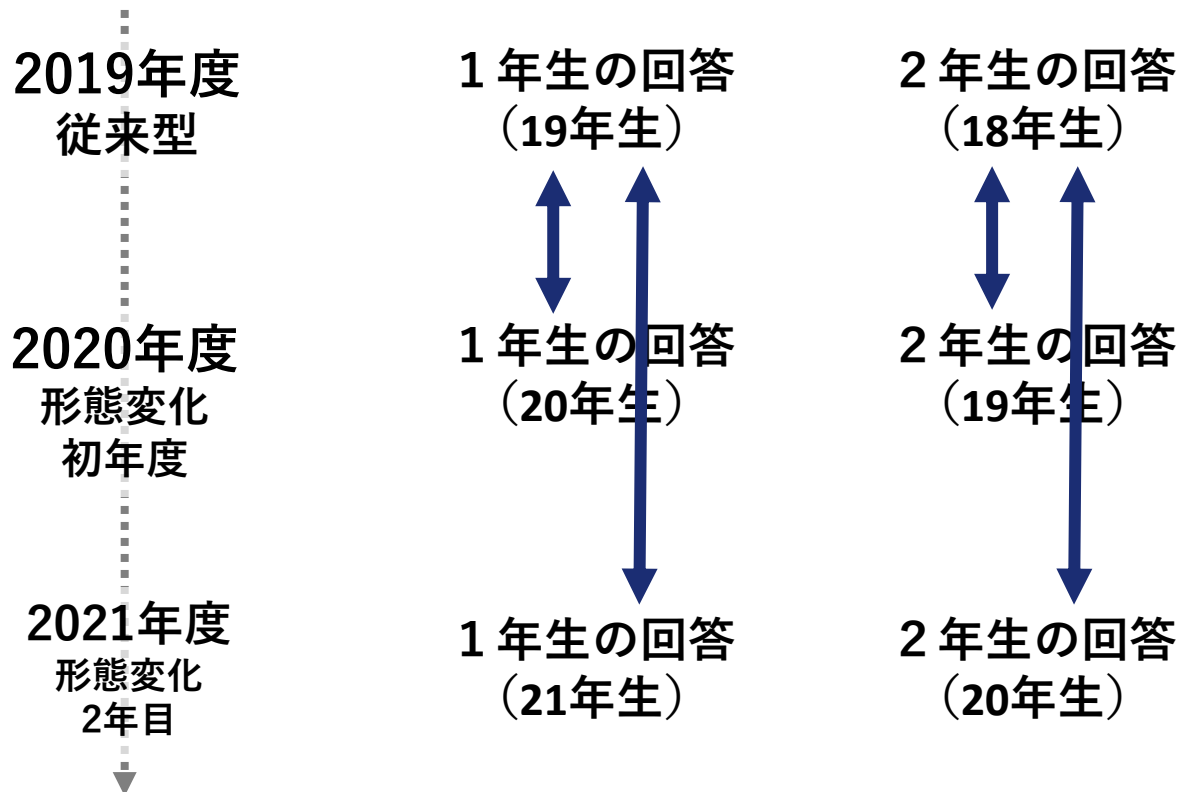
目的と分析方法

➤ 目的

授業形態が変化した初年度の2020年度、2年目の2021年度の授業に対する学生の評価や学修行動を検討

➤ 分析方法

2019年度の授業調査の結果と2020年度、2021年度の結果を比較



分析に用いた質問項目

➤ 問3 教員の質問対応

- ・「この授業では、教員は学生の質問や発言などに対応をしてくれていますか。」
- ・「大いにそう思う」～「全くそう思わない」の5件法

➤ 問6 到達目標の理解

- ・「あなたは、この授業のねらいや目標を理解して授業に取り組んでいますか。」
- ・「大いにそう思う」～「全くそう思わない」の5件法

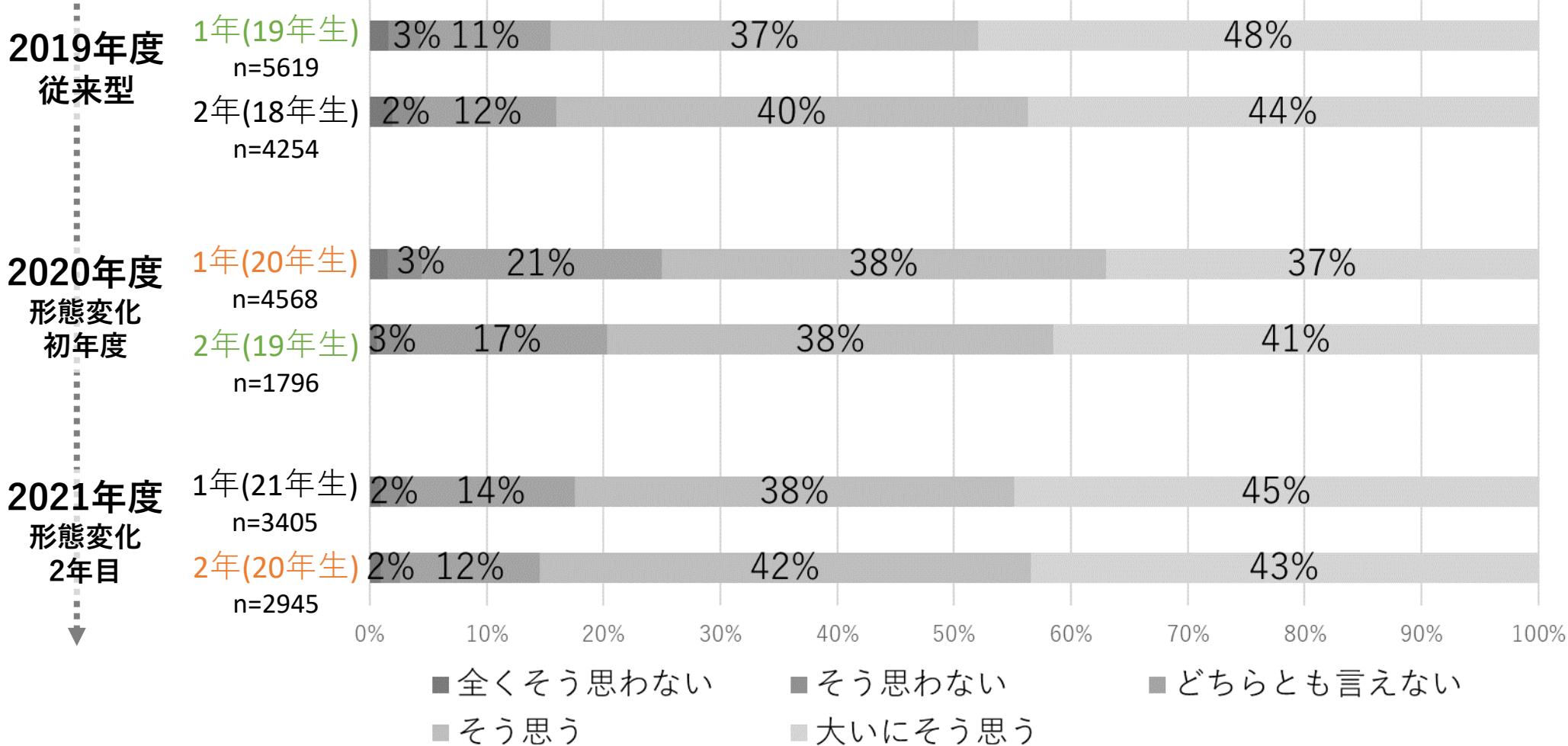
➤ 問10 授業の総合満足度

- ・「あなたは、総合的にみて、この授業に満足していますか。」
- ・「大いにそう思う」～「全くそう思わない」の5件法

➤ 問9 分からないことがあった際の対応方法

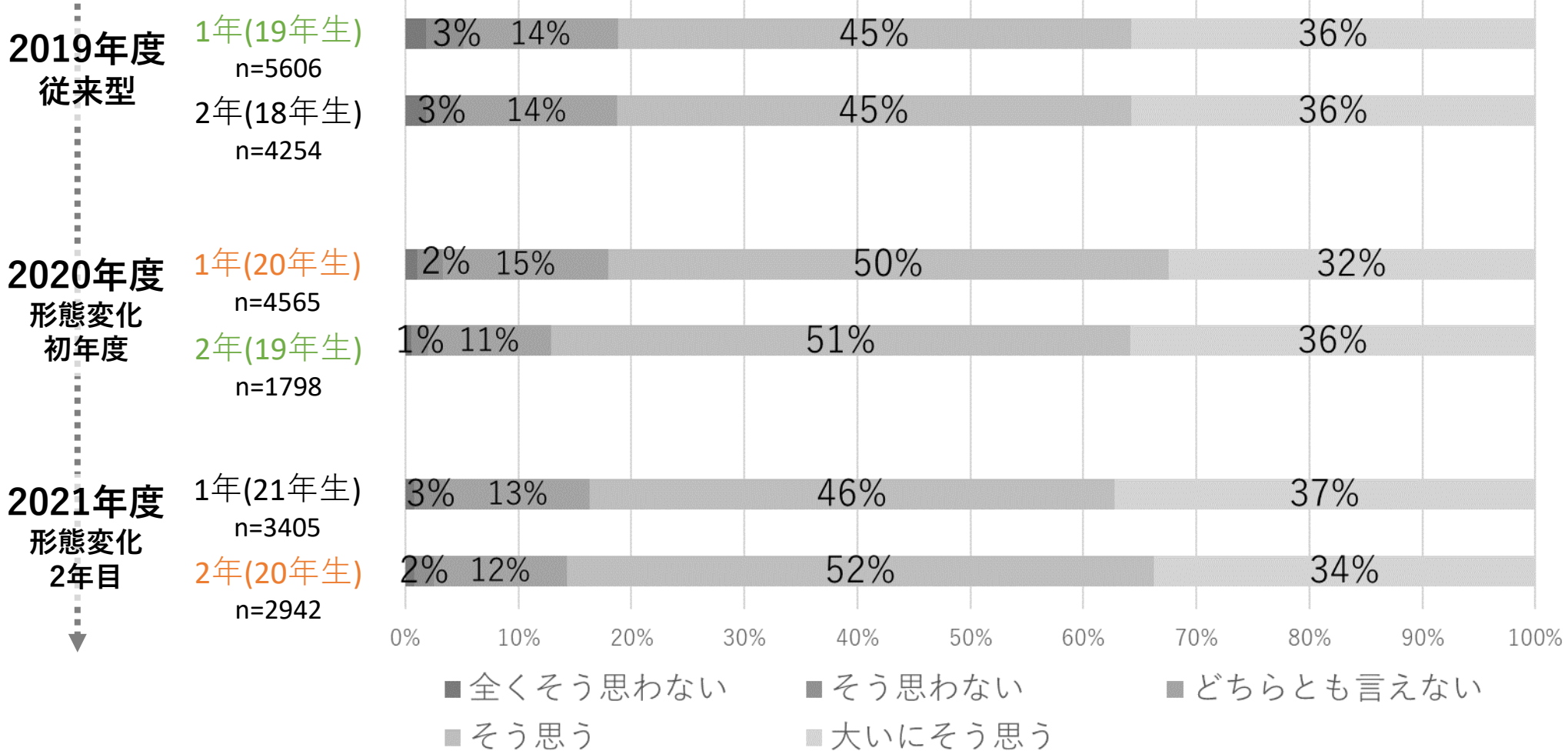
- ・「あなたは、この授業で分からないことや疑問に思ったことについて、主にどのように対応しているか選択肢から1つ選んで下さい。」
- ・「教員に質問した」「自分で勉強し直した」「友達・先輩に尋ねた」「図書館のサービスを利用した」「そのままにした」

問3 教員の質問対応



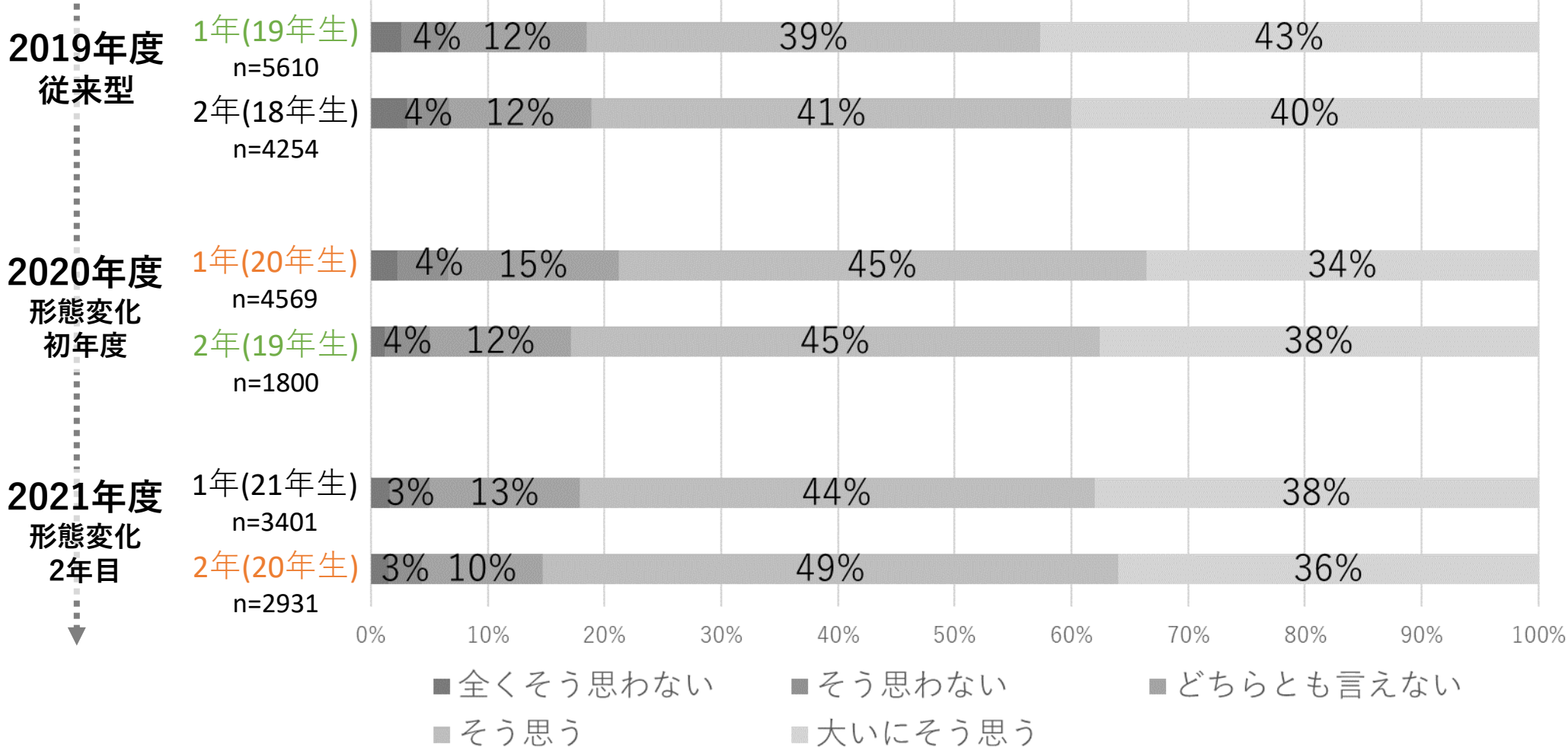
2020年：1年生は2019年1年生と比して「大いにそう思う」減
 2年生は2019年2年生と大きな違いなし
 2021年：1年生、2年生ともに2019年と大きな違いなし

問 6 到達目標の理解



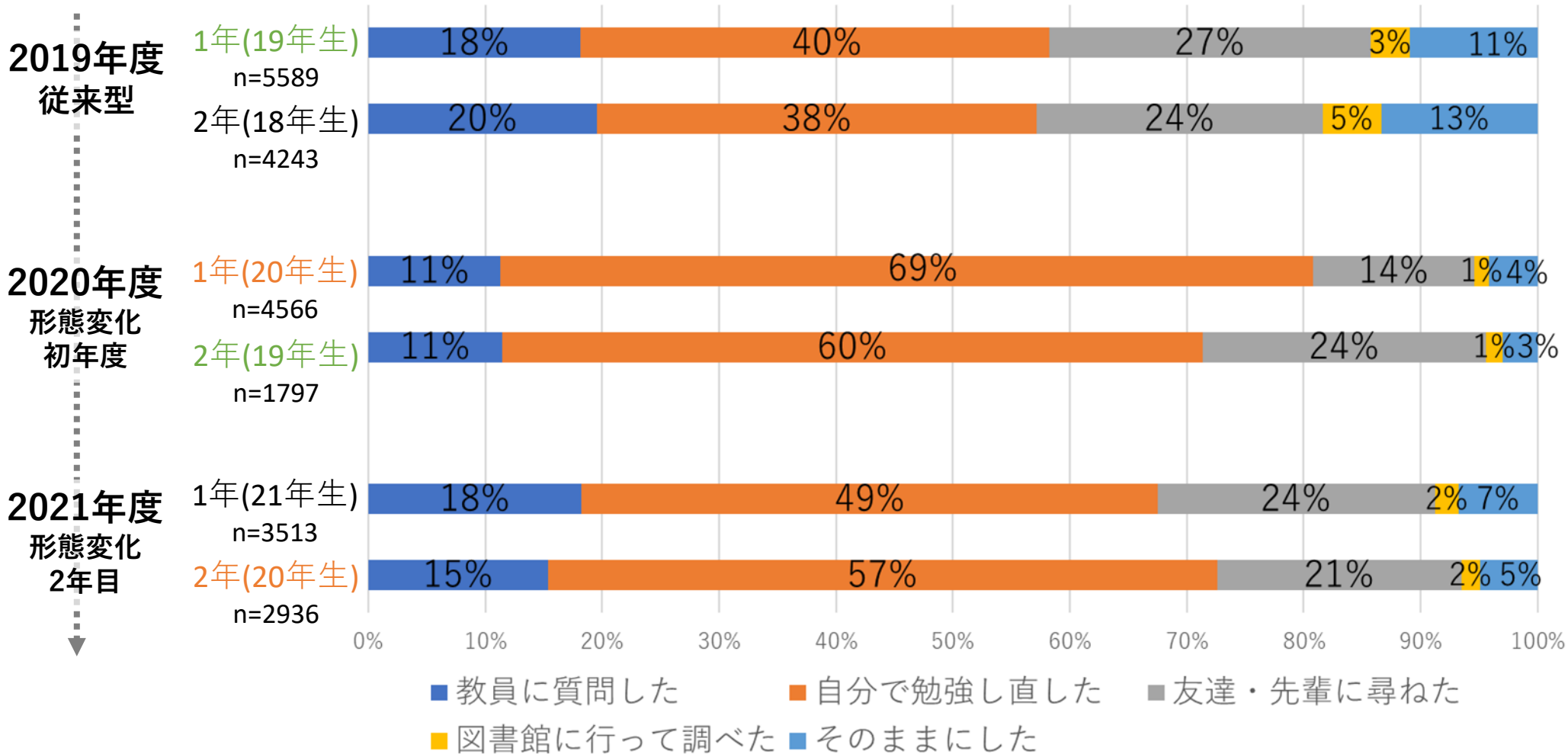
2020年：2019年と大きな違いなし
 2021年：2019年と大きな違いなし

問10 授業の総合満足度



2020年：1年生は2019年1年生と比して「大いにそう思う」減
 2年生は2019年2年生と大きな違いなし
 2021年：1年生、2年生ともに2019年と大きな違いなし

問9 分からないことがあった際の対応方法



2020年：1年生、2年生ともに「自分で勉強し直した」増、
 「教員に質問」「そのままにした」減
 1年生は「友達・先輩に尋ねた」減
 2021年：1年生、2年生ともに「自分で勉強し直した」増

まとめ 授業形態が大きく変化した2020年度入学生

2020年度

形態変化
初年度

1年次

- ・ 授業に対する評価はやや低め
→ 想定とは異なる形態の授業が多かった
- ・ 問9「友達・先輩に尋ねた」の割合が低め
→ 友達や先輩との関係を築けていなかった
- ・ 問9「自分で勉強」の割合高め、「そのままにした」割合低め
→ 勉強に集中して取り組むことができていた

2021年度

形態変化
2年目

2年次

- ・ 授業に対する評価は2019年度2年生と同じ(従来通り)
→ 科目の特性が考慮された形態で授業が実施
学生が新しい授業形態に慣れた
- ・ 問9「友達・先輩に尋ねた」の割合が1年次に比して高くなる
→ 1年次よりも、友達や先輩との関係を築けている
- ・ 問9「自分で勉強」の割合高め、「そのままにした」割合低め
→ 引き続き、勉強に集中して取り組むことができています 8